



5月は、気温も少しずつ暖かくなり、ミニボートを利用し、遊漁等を楽しむ人が増えてくる時期です。

海難防止の意識を高く持って、安全に楽しみましょう！！

1 気象海象の確認

出港を考えているときは、事前に気象海象の情報を入手しましょう！

ミニボートが安心して航行できる目安は

- ・波高**20cm**以下
- ・風速**4m/s**以下

とされています。

波があるとき、風が強い場合は出港を見合わせましょう。

また、出港後も気象海象のチェックを行い、天候悪化が予想される、又は悪化してきた場合は**早めの帰港判断**も大切です！！



2 目立つ工夫

漁船やプレジャーボートからミニボートを見つけるのは困難です。

周囲の船舶にミニボートの存在を認識させるための工夫をしましょう！

- ・3m以上の高さのポールに**目立つ旗**を設置
- ・**目立つ色の服**を着用
- ・いざというときの**音響装置(笛)**の使用



3 転覆・転落への注意

ミニボートは小さく、揺れやすいので、転落・転覆の危険性があることから、注意しましょう。

- ・艇に合った**サイドフロート**の取り付け
- ・ボート内で「**立たない**」「**片寄らない**」



4 出港前の点検

出港前に船体・機関(燃料)の確認を行いましょう！

- ・定期的に**業者に機関のメンテナンス**を依頼
- ・燃料は、**航海計画**で消費する分よりも**多め**に積む

↳ 出港した際は、岸から1km以内、出港地から2km以内かつオールで帰ることができる距離を航行しましょう！



5 救命胴衣の着用

万が一、海中転落した際に自身の命を助けてくれるものです！

- ・固型式の救命胴衣を着用する際は**目立つ色**のものを着用



事故事例

令和8年4月、漁船A丸（1名乗組）とプレジャーボートB丸（1名乗組）が港内で衝突したという事案が発生しました。こちらの事案につきましては、「漁船A丸は同港出港中の別の船舶」「プレジャーボートB丸は岸壁にいた釣り客」にそれぞれ気を取られたことにより、お互いに**適切な見張りを怠った**ことが原因と考えられます。